

## 2017-中3学校別入試特訓のご案内①

～「自分にあった、納得できる志望校選び」をして「入試当日の得点力をしっかり身につけよう」～

9月24日(日)から開講する「学校別入試特訓(全22校)」について改めてご案内させていただきます。私立高校入試では、とかく個別相談のみに目が行きがちですが、どの学校も入試当日の入試の得点を重視しています。志望校合格に向けて「学校別入試特訓」の受講をぜひおすすめいたします(→詳細別途)。

### <スクール21だけの完全学校別の入試対策講座です>

#### ★私立高校入試はここがポイントです！

〈ポイント①〉県公立高校が第一志望の生徒でも、併願私立高校の選択はとて重要で重要。目標の県公立高校合格のためには、「自分にあった納得できる私立高校」の合格を確保しておくことが絶対条件ともいえます。また複数の私立高校合格で、選択の幅を広げることも大切です。

〈ポイント②〉県内の多くの私立高校では、個別相談の際に会場テスト等の成績に基づいて合格の目安を教えてください、ここで油断をしてしまつてはいけません。入試当日の得点で類型やコースがアップする(またはダウンする)こともあります。同じ学校でも、類型・コースが違つたとその教育内容は大きく異なります。さらには、入試の得点が高校進学後のクラス分け資料として使われるケースも多くあります。

#### ★学校別入試特訓の4つのポイント！

〈ポイント①〉「まるまる1日」高校生活を体験できます。

実際の高校の校舎で授業を受けていただきます。実際の教室で授業を受けるからこそ、よりその高校のことを実感することができます。ほぼ丸一日を高校の校舎内で過ごす機会は、他では絶対経験できません。

〈ポイント②〉入試問題の出題傾向と効率のいい入試対策のやり方がわかります。

本講座では、各高校の入試問題で、頻出の重要単元問題を扱います。各私立高校の入試レベル・問題傾向を感じ取っていただくとともに、効率的で効果的な学習の進め方をお教えします。

〈ポイント③〉高校の教科担当の先生方から、直接学習アドバイスが受けられます。

各高校の教科担当の先生方から、それぞれ具体的に学習アドバイスを直接聞くことができます。この講座でしか聞けないようなマル秘の情報があるかもしれません。また、個別相談や校内見学も実施します(※一部を除く)。

〈ポイント④〉お得な費用設定です。複数校受講をおすすめします。

まるまる1日の特訓を受けて「1校6,500円(税別)」。2校目からは「半額の1校3,250円(税別)」で受講できます。

#### ★学校情報①:今回は「開智高校」についてご紹介いたします。

【入試情報(速報)】大学入試改革を踏まえ、英語の出題傾向が一部変更されます。大問1:英語で他の教科の知識を聞く問題。／大問2:会話文の問題と、会話文と作文の融合問題。※長文読解は昨年同様。リスニングはなし。

【学校の魅力・特徴】①主体的、創造的で「自由な校風」:文化祭・体育祭等の学校行事の中身は生徒自身が決められる(※校則についても同様)。／②中高一貫部とは混ざらない「完全独立型」(※修学旅行等、学校行事についても同様)。／③現役進学率(高等部):例年現役進学率は7割程度。今春国公立への進学は2割程度(47名/216名中)。また、早慶上理は63名、GMARCHは78名が現役合格(のべ数)。／④少人数クラス編成:1クラスの数人が、例年35名未満(高等部)。／⑤「特別講座」「講習会」が充実(「予備校いらず」のサポート体制):3年生は月～土まで毎日放課後「志望大学別の特別講座(180分)」がすべて無料で、1・2年生は月、木の週2回「英語・数学の特別講座(100分)」が同じく無料で受講可(※月・木は部活なし。原則必修)。また、春・夏・冬休みには講習会が行われ、「受講料360円(60分/教材費含む)」で受講可(※直前講習(12/9-20,1/8-17)は無料)。／⑥「独習室(自習室)」「学びのスペース(補習可)」も充実:「独習室」は3ヶ所、約250席、「学びのスペース」は6ヶ所、約300席あり。また、1、2年生は夜7時まで、3年生は夜9時まで利用可。休日は、年中無休で午前9時から午後5時まで利用可(開智プラザ)。／⑦安心の特待生制度:学費が私学としてはたいへん安く(→関東で指折り)、また、併願入試では「3人に1人が特待生」として合格(※国の就学支援金の対象にもなる)。／⑧修学旅行(現地研修):「ボストン」「シンガポール」「広島・関西」の3エリアから一つを選択し参加(2年生)。／⑨2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞した「大村智氏」は開智学園の名誉学園長。